よなご農業委員会報



令和８年秋発行　No.43

会長就任にあたって

米子市農業委員会 会長 中本 公平

皆様には、日頃から米子市農業委員会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、七月の農業委員会臨時総会において会長に就任しました中本です。農業委員十九名、農地利用最適化推進委員二十二名で、農業委員会業務に取り組んでまいります。

米子市は自然環境に恵まれており、大山の麓には水稲、ブロッコリー、玉ねぎなど、弓浜地区には白ねぎや人参など多彩な農業が営まれています。しかし昨今は資材価格の高騰・米価の不安定などを心配する中、今年も猛暑が続き農業に深刻な打撃を与えています。米の品質低下（白未熟粒の増加）、野菜、果物の日焼けや生育不良、収穫量の減少、さらに農作業従事者の熱中症リスクなど、品質と収穫量の両面で大きな影響が出ています。

こうした気候変動がある中、一方では近年農業者の高齢化・後継者不足、そしてそれを補う担い手も少なく、そのため耕作放棄地・遊休農地などが増加し農業危機に陥っています。このような状況の中、国は農地中間管理事業という法整備を打ち出し、一方では多面的機能支払交付金事業との両輪で農地の荒廃を防ぎ、農地の安定化を図ろうとしました。

農家は一九七〇年に始まって以来、半世紀に亘る減反政策により現在でも農業政策に対して多くの不信感を持っており、それが耕作放棄地の一因にもなっていると考えます。その反面、農家は将来の農地維持管理に対して不安を抱えており、諸刃の剣を突き付けられている様な状況です。それ故に、農業委員・農地利用最適化推進委員が一体となり、まず農家の不信感を払拭し、そして農家に寄り添い、地域に合う農業形態を模索しながら行政や関係機関・団体とも協力し、耕作放棄地を無くし農地の利用最適化を推進し、食料の安定供給を目指すことが大事ではないかと考えます。そして、農家の意識改革を元に、農地の集積・集約を図り、担い手の育成、新規就農者の掘り起こし、また法人化の取り組みなど農地の流動化を目指し、未来への地域計画を推し進めることが肝要だと考えます。

そのためには、多くの農業者とコミュニケーションを取り、地域との連携を密にしながら環境保全に努め、豊かな農業振興に寄与することが農業委員の責務ではないかと考えます。

今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● おもな内容 ●

★新しい農業委員を紹介します…… 2
★新しい農地利用最適化推進委員を紹介します… 3
★農地相談会等について…… 4

農地に関してのご相談は農業委員会に

まずは農業委員会事務局までご相談ください。

米子市農業委員会事務局　〒683-8686 米子市加茂町一丁目１番地（市役所本庁舎２階）☎(0859)23-5277

新しい農業委員を紹介します。

農業委員の主な役割
・農地の権利移動や農地転用等について審議、決定　　・農地利用の最適化に関わる活動
・農地利用最適化推進指針等の策定、変更



赤尾　昇
五千石



泉　新一
加茂・夜見



岩佐　和俊
成実



会長職務代理
松尾　敏正
住吉・彦名・彦名新田



会長
中本　公平
大高



大谷　昂史
大篠津



公本　英夫
加茂・住吉・夜見・
彦名・彦名新田



角　　力
崎津



関本　五郎
大高



髙橋　敦美
県



宅野　真二
巌



田子　博康
尚徳



田中　英省
淀江・宇田川・大和



中西　文子
富益



野田　荘一郎
旧米子・福米



能登路　幸輝
巌



安井　貴之
春日



山岡　明
車尾・福生



米澤　美憲
和田

農業委員、農地利用最適化推進委員は地方公務員です。
相談の際の手土産等は一切不要です。

新しい農地利用最適化推進委員を紹介します。

農地利用最適化推進委員の主な役割
- 農地の出し手と受け手のマッチングに努め、担い手への農地集積を図る
- 遊休農地所有者との相談活動を行い、遊休農地の発生防止
- 新規就農希望者の相談相手となり、就農候補地のあっせん


廣東　宣明
車尾


平木　茂樹
福生


福田　忠雄
巌


奥田　慎也
春日


佐野　和也
旧米子


石井　眞人
福米


髙木　肇
加茂


三島　通政
住吉


平木　大吾
五千石


大塚　清徳
尚徳


福長　正樹
成実


高尾　和広
彦名


足立　康雄
富益


竹中　誠一
夜見


松本　裕三
崎津


本池　実
大篠津


大家　保
和田


長谷川　礼司
大高


福島　公明
県


橋本　愼一
淀江




泉　浩文
宇田川


吉田　知史
大和

農地相談のご案内

農地の売買、賃借、相続、贈与、地目変更など農地に関して日頃困っておられる事や疑問に思われている事がありましたら、お気軽にお越しください。農業委員及び推進委員が相談に応じます。

相談日	地区（開催場所）	相談日	地区（開催場所）
10/23（金）	車尾・福生 （車尾公民館）	12/23（水）	淀江・宇田川・大和 （米子市淀江支所）
10/26（月）	彦名・夜見 （彦名公民館）	2/19（金）	春日・巌 （春日公民館）
11/20（金）	県・大高 （県公民館）	2/24（水）	和田・大篠津 （和田公民館）
11/27（金）	崎津・富益 （崎津公民館）	3/24（水）	加茂・住吉 （河崎公民館）
12/21（月）	五千石・成実・尚徳 （五千石公民館）		

相談時間:午後2時～4時
（受付は午後３時30分までです）

※農地に関する相談をご希望の方は、農地の所在や地番が分かるものをお持ちいただくとスムーズです。

農業者年金に加入しませんか

独立行政法人 農業者年金基金

ポイント１　農業者なら広く加入できる（年間60日以上農業に従事する65歳未満）
ポイント２　積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い
ポイント３　保険料は月額２万円から６万７千円の間で、千円単位で自由に決められる
ポイント４　終身年金。80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金がある
ポイント５　税制面で優遇措置がある
ポイント６　一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある

※農業者年金の内容やご相談については、最寄りの JA や農業委員会事務局にお問い合わせください。

全国農業新聞

農業の最新情報を提供する全国農業新聞のご案内
＊発行日　毎週金曜日
＊購読料　１ヵ月900円（税込）
＊発行所　全国農業会議所
＊申込先　農業委員会事務局まで

編集後記

農業委員、農地利用最適化推進委員も数名が入れ替わり、新たな３年間が始まります。昨年は米不足による価格高騰、そして今年は米余りにより米価安。そして猛暑に次ぐ、各地で頻発するゲリラ豪雨など農業を営む上で次から次へと厳しい現実が押し寄せています。

これからの農業、農地をいかに持続させることが出来るのか、農業委員会の果たす役割は非常に大きいと感じています。

【編集委員】委員長　福島　公明
委　員　公本　英夫、田子　博康、中西　文子、野田　荘一郎、大家　保、福田　忠雄
年２回春秋発行

Yonago